

研究会テーマ『いのち・くらしまるごとケア～医療と介護の架け橋へ～』  
記念講演講師が決定！！

第28回神経・リハビリテーション研究会 in 大阪のテーマは、『いのち・くらしまるごとケア～医療と介護の架け橋へ～』に決定しました。シンポジウムでは、地域で暮らす中で、実際に行われている包括ケアの実態とそこへ介入していく民医連の取り組み、理想を皆さんと考え、議論できればと考えています。

### 記念講演講師



#### 大井 通正 (医療生協八尾クリニック 所長)

- リハビリテーション医学会認定リハビリテーション科専門医
- 身体障害者福祉法指定医
- 難病指定医
- 脳神経内科

「在宅療養支援診療所」として往診、訪問看護、訪問リハなど多くの患者様の在宅療養を支援。特に地域の病院との医療連携を重視し、疾患の診断と治療を迅速に進めている。

著書：『患者と家族に寄りそう在宅医療日記』

『脳卒中リハビリテーション—早期リハからケアマネジメントまで』



#### 山田 剛

- 1991年 作業療法士免許を取得  
(日本作業療法士協会 会員番号 4745)
- 91年～98年 ボバース記念病院
- 98年～2004年 (法人内異動) 老人保健施設 グリーンライフ
- 04年～13年 千里津雲台訪問看護ステーション
- 2014年～ フリーランス作業療法士となる

訪問看護ステーション3か所、大阪河崎リハビリテーション大学 (非常勤講師)

箕面学園福祉保育専門学校作業療法学科 (非常勤講師)、豊中市保健センター (非常勤)

大阪府豊能郡豊能町 (地域ケア会議)

常勤職場はなく非常勤掛け持ちで勤務し、その一方で、リハビリ病院、老人保健施設、訪問看護ステーションでの勤務の経験を活かしながら、地域リハビリテーションや多職種連携、新人から若手セラピスト向けの研修会などを開催している。